

豊岡市監査委員	羽	尻	知	充
豊岡市監査委員	中	嶋	英	樹
豊岡市監査委員	西	田		真

定期監査及び行政監査結果報告について

地方自治法第199条第1項、第2項及び第4項の規定に基づき、定期監査及び行政監査を実施したので、同条第9項の規定によりその結果を報告します。

定期監査及び行政監査結果報告書

第1 監査の種類

地方自治法第199条第1項の規定に基づく財務監査を第4項の規定による定期監査として、併せて第2項の規定に基づく行政監査を実施した。

第2 監査の対象

1 監査の対象

[教育委員会所管施設]

竹野小学校、府中小学校、八代小学校、日高小学校、三方小学校、清滝小学校、豊岡幼稚園及び日高幼稚園

2 対象期間と範囲

令和5年4月1日から8月31日現在までの上記各施設の財務及び一般行政事務に関する事務の執行

第3 監査の着眼点

今回の監査は、上記の教育委員会所管に係る施設の事務を対象に、主に予算執行その他の事務の処理状況、現金・物品の出納及び保管状況並びに施設管理の状況等を重点に、令和5年8月31日現在の監査要求資料等に基づき、それぞれの事務が関係法令等に準拠し、かつ適正・的確に行われているかを試査した。

第4 監査の主な実施内容

監査委員事務局職員による事前監査（予備調査）をヒアリング形式により実施するとともに、監査委員による監査を実施した。

1 事前監査実施日 令和5年10月10日、12日及び13日

- (1) 監査要求資料〔所管課（教育総務課・学校教育課・幼児育成課）一括分及び各学校・園分要求資料〕、関係帳簿及び書類の提出を求め、事前監査点検事項（チェックシート）を作成した。
- (2) 支出負担行為伝票を抽出調査し、内容を聴取・確認するとともに、財務会計システムにより予算全体の執行状況を確認した。
- (3) 学校（園）要覧、職員体制及び主要な特別活動の概要について説明を受け、運営状況等について確認した。
- (4) 実態調査表及び自己点検シートに基づいて、状況等内容を聴取した。
- (5) 備品の購入及び管理状況について、備品台帳等により確認した。
- (6) 資金前渡金について、内容を聴取し処理状況の確認を行った。郵券受払簿及び保有数量の確認を行った。
- (7) 学校徴収金の内容や予算の執行状況等について、通帳等により確認した。

2 監査委員監査の実施日 令和5年10月24日、25日及び26日

- (1) 事前監査（予備調査）の結果を踏まえて行った。
- (2) 監査委員名 監査委員 羽尻 知充、監査委員 中嶋 英樹、監査委員 木谷 敏勝
※ 木谷 敏勝監査委員は、11月13日で退職した。
- (3) 基準等 豊岡市監査委員監査基準及び実務ガイドライン（全国都市監査委員会編集）

第5 監査の実施場所及び日程

- 1 実施場所 各学校及び各園執務室並びに現地
- 2 監査の期間 令和5年9月1日から11月24日まで

第6 監査の結果

監査の結果、おおむね適正な事務処理がなされていると認められた。しかし、事務の一部について、留意及び改善を要する点が見受けられたので、それぞれ必要な措置を講じ適正な事務処理に努められたい。

なお、今回の監査における要望事項等は、「第7 監査の総括及び所見」に述べているとおりであるので、今後、対応等検討されたい。

また、軽易な注意事項等についてはその都度口頭で改善指導したので、記述を省略した。

以下、監査の結果は次のとおりである。なお、文中及び各表中の係数は、原則として表示単位未満を四捨五入により端数処理した関係上、合計と内訳の計が一致しない場合がある。

◎教育委員会

- 竹野小学校、府中小学校、八代小学校、日高小学校、三方小学校、清滝小学校—
—豊岡幼稚園、日高幼稚園—

1 小学校の概要

各小学校の概要（令和5年8月31日現在）は次のとおりである。

学校名	設立年度	現施設 建築年度	敷地面積	建物延床 面積	教室等の 構造	集会・ 教室数
竹野小学校	明治5年度	昭和35年度(教室棟) 昭和36年度(管理棟)	11,228㎡	3,517㎡	RC造3階建	20室
府中小学校	明治7年度	昭和48年度(特別教室棟) 平成3年度(管理・教室棟)	16,307㎡	5,146㎡	RC造3階建	18室
八代小学校	明治7年度	昭和46年度(特別教室棟) 平成7年度(管理・教室棟)	9,783㎡	3,278㎡	RC造3階建	16室
日高小学校	明治6年度	昭和40年度(特別教室棟) 昭和63年度(普通教室棟) 平成元年度(管理・教室棟)	23,058㎡	7,101㎡	RC造3階建	30室
三方小学校	明治7年度	平成6年度	32,441㎡	4,546㎡	RC造2階建	18室
清滝小学校	明治7年度	平成9年度	13,909㎡	3,676㎡	RC造2階建	18室

※ RC造は、鉄筋コンクリート造

(単位：人)

学校名	職員数	学級数	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援	合計
竹野小学校	23	9学級	24	17	28	23	19	32	8	151
府中小学校	25	8学級	27	26	25	29	29	35	6	177
八代小学校	10	4学級	3	1	2	2	11	3	0	22
日高小学校	43	16学級	58	60	52	71	75	89	10	415
三方小学校	19	9学級	14	13	15	18	17	21	5	103
清滝小学校	16	7学級	16	9	14	7	16	20	1	83

※ 職員数には事務職員、校務員等を含む。

2 小学校予算の執行状況

各小学校へ配当された予算の執行状況(令和5年8月31日現在)は、次のとおりである。

(単位：千円)

区 分	竹野小学校		府中小学校		八代小学校	
	予算額	執行済額	予算額	執行済額	予算額	執行済額
学校振興費	37	0	33	4	29	0
小学校管理費	7,335	1,978	7,607	3,026	4,217	1,351
需用費	6,477	1,881	6,893	2,546	3,603	1,157
消耗品費	1,433	408	1,250	703	686	343
燃料費	354	21	727	30	218	11
食糧費	4	0	4	0	3	2
印刷製本費	19	0	19	0	12	0
光熱水費	3,869	1,277	4,180	1,418	2,058	665
修繕料	798	175	713	395	626	136
役務費	260	57	243	158	201	58
備品購入費	598	40	471	322	413	136
小学校教育振興費	14	0	14	14	13	0
合 計	7,386	1,978	7,654	3,044	4,259	1,351

区 分	日高小学校		三方小学校		清滝小学校	
	予算額	執行済額	予算額	執行済額	予算額	執行済額
学校振興費	42	35	29	23	28	9
小学校管理費	11,080	3,562	6,707	1,807	5,402	2,061
需用費	10,150	3,264	6,014	1,622	4,750	1,647
消耗品費	2,213	784	1,086	463	940	419
燃料費	661	20	568	10	836	22
食糧費	4	1	4	0	4	1
印刷製本費	35	17	17	0	15	0
光熱水費	6,192	1,953	3,567	1,018	2,196	793
修繕料	1,045	489	772	131	759	412
役務費	363	111	214	60	198	128
備品購入費	567	187	479	125	454	286
小学校教育振興費	20	11	14	6	14	14
合 計	11,142	3,608	6,750	1,836	5,444	2,084

小学校での歳出予算科目は、学校振興費（こども支援センター運営事業費、学校・家庭・地域連携推進事業費）、小学校管理費（学校運営事業費、学校施設管理費、学校保健安全管理費）、小学校教育振興費（理科教育等設備整備事業費）であり、各小学校に対し均等割・学級数割・児童数割等で、学校教育課及び教育総務課から一部予算配当を行い、小学校ごとに予算執行している。

小学校管理費の修繕料として各小学校で執行しているものは、主に小規模な修繕であり、その他の修繕については、教育総務課が各小学校の実情を把握し、緊急性、必要性等を考慮する中で、直接予算執行している。

また、小学校教育振興費は、理科教材経費であり、消耗品費の一部を学校教育課から各小学校へ予算配当し、小学校ごとに予算執行している。

3 小学校における主な取組状況

各校においては、非認知能力（やり抜く力・自制心・協働性）を身に付けた子どもを育てるため、第4次とよおか教育プランの基本理念「ふるさと豊岡を愛し 夢の実現に向け挑戦する子どもの育成」に則り、それぞれ重点目標並びに学校運営・教育の方針を具体的に打ち立て、家庭や地域の支援を受けながら、その実現に向けた取組に努めている。

- (1) ふるさと教育は、それぞれの学校で地域と連携・協力して特色のある事業を行っており、地域の一員として何ができるか、何をすべきかについても考え、語ることができる子どもの育成を目指している。
- (2) 英語教育は、全ての小・中学校に配置されているALT（外国語指導助手）と一緒に行われている。就学前の英語遊びを含め、幼児期から小・中学校までの連続性と系統性のある学習を通して「自分のこと」「ふるさとのこと」を英語で話すことのできる資質・能力を育成している。
- (3) コミュニケーション教育は、小学校6年生と中学校1年生を対象に「演劇的手法を取り入れた授業」を全市展開している。子どもたちは、仲間と主体的に関わりながら、コミュニケーションの大切さを体験的に学んでいる。
- (4) 学校では毎月1回「いじめアンケート」を実施するとともに小学校3年生以上の全児童生徒を対象に、学校環境への適応感をはかる心のアンケート「アセス」を実施している。子どもたちの心の状況を客観的にとらえることで、いじめや問題行動の未然防止、早期発見、早期対応につなげている。
- (5) 不登校の児童生徒数は、増加傾向が続き課題となっている。感染症の影響により生活環境が変化し、生活リズムが乱れたり、ストレス度が高くなったりしたことが原因で登校できない児童生徒が見られることから、引き続き、アンケートや教育相談を通して児童生徒の心と体の状態を把握し、こころのケアに努めている。教育研修センター及びこども支援センターと連携しながら、学校を挙げてその対応と解消に努力している。
- (6) 教育用情報機器について、1人1台端末環境の運用面の支援を行う県単位のGIGAスクール推進との連携、老朽化した校務用ノートパソコン端末の更新、ICTを活用した豊かな学びを提供するための特別教室へのWi-Fiの環境整備等を進めている。
- (7) 学校施設の長寿命化・大規模改修は「豊岡市学校施設個別施設計画」に基づき、学校施設に求められる機能・性能を維持・確保していくこととしており、令和5年度は、三江小学校校舎の長寿命化改良工事の実施設計と、施設一体型小中一貫校の整備に向けて竹野小学校及び竹野中学校の改築、改修工事の実施設計を行っている。
- (8) 原油価格や物価上昇の影響を受け、学校給食の食材費が高騰している。食材の質を維持しながら保護者の負担増を避けるため、児童にかかる給食費について、令和5年4月から1食あたり10円、令和5年10月から1食あたり13円を臨時的に公費で負担している。
- (9) 学校と地域住民等が力を合わせて学校運営に取り組む「コミュニティ・スクール」と学校と地域が相互にパートナーとして行う「地域学校協働活動」の一体的な実施に向けた取組を進めている。「コミュニティ・スクール」は、これまで2校のモデル校で実施してきたが、令和5年度は各中学校区1校の計9校に拡充している。

今後も引き続き、少子化の影響からすべての学校において、児童生徒数は減少傾向になるが、引き続き、学校及び地域の特性を活かし、「とよおか教育プラン」の基本理念を実現するため、学校・家庭・地域がそれぞれの役割と責任を深く自覚し、より強い連携のもと基本

理念の共有と実践に努められることを期待する。

4 幼稚園の概要

各幼稚園の概要（令和5年8月31日現在）は次のとおりである。

幼稚園名	設立年度	現施設 建設年度	敷地面積	建物 延面積	教室等の 構造	集会・ 教室数
豊岡幼稚園	令和5年度	昭和62年度	4,088㎡	699㎡	RC造平屋建	5室
日高幼稚園	大正14年度	平成13年度	2,520㎡	923㎡	RC造平屋建	6室

※ RC造は、鉄筋コンクリート造

(単位：人)

幼稚園名	職員数	学級数	4歳児	5歳児	合計
豊岡幼稚園	4	1	4	4	8
日高幼稚園	3	1	0	2	2

※ 職員数には園長、園務員を含む。

5 幼稚園予算の執行状況

幼稚園へ配当された予算の執行状況（令和5年8月31日現在）は、次のとおりである。

(単位：千円)

区 分	豊岡幼稚園		日高幼稚園	
	予算額	支出済額	予算額	支出済額
学校振興費	4	0	4	1
幼稚園費	2,067	705	2,101	570
需用費	1,949	690	2,010	550
消耗品費	191	163	128	34
燃料費	4	2	29	2
食糧費	7	1	3	0
印刷製本費	9	0	6	0
光熱水費	1,573	392	1,703	503
修繕料	165	132	141	11
役務費	118	15	91	20
合 計	2,071	705	2,105	571

幼稚園での歳出予算科目は、学校振興費及び幼稚園費であり、幼稚園に対し均等割、園児数割等で幼児育成課、教育総務課及び学校教育課から一部予算配当を行い、幼稚園ごとに予算執行している。

幼稚園費の修繕料として幼稚園で執行しているものは、主に小規模な修繕であり、その他の修繕については、教育総務課が幼稚園の実情を把握し、緊急性、必要性等を考慮する中で、直接予算執行している。

また、備品購入については、幼児育成課が幼稚園の実情を把握し、緊急性、必要性等を考慮する中で、直接執行している。

6 幼稚園における主な取組状況

各幼稚園においては、豊岡市子ども・子育て支援事業計画の基本理念「子どもが元気に育つまち・子育てが楽しいまち 豊岡」を実現するため、それぞれ教育・保育目標を具体的に立て、家庭や地域の支援を受けながら取り組んでいる。

- (1) 各幼稚園においては、第2次就学前の教育・保育計画「スタンダード・カリキュラム」を基本とし、それぞれの園で教育保育理念を定め、年齢に応じた年間指導計画のもと、発達段階に合った教育保育活動がなされている。
- (2) 幼児期に身につけるべき基礎力の育成に向けた「運動遊び保育」や就学前の英語活動として「英語遊び保育」を展開するとともに、やり抜く力、挑戦意欲、協調性といった非認知能力を育む教育保育が実践されている。
- (3) 園外保育を通じて様々な体験や近隣の就学前施設及び小学校並びに地域の各年代層の住民との交流を実施しており、園の行事として定着が見られ、地域とのコミュニケーションが図られている。
- (4) 遊具の点検については、職員が定期的に見視及び打音検査等による点検を実施している。また、3年ごとに専門家による一斉点検を実施するなど、安全管理に努めている。
- (5) 小学校入学予定のお子さんが安心して入学できるよう、就学ガイドブック「わくわくどきどき1年生」を作成し、小学校入学にかかる保護者のいろいろな不安や心配の解消に努めている。

幼児期の教育及び保育の充実は、生涯にわたる人間形成の基礎を培う重要なものである。引き続き、望ましい生活習慣の定着へ向けての保育、特色ある幼児期の教育への取組を期待する。

7 学校再編、就学前施設の再編・統合

- (1) 令和3年12月、子どもたちにとってより良い教育環境の整備と教育内容のさらなる充実を目的として、豊岡市における小中学校の適正規模・適正配置の考え方と、それを実現するための学校再編の進め方や再編の枠組みを示すものとして「豊岡市立小中学校適正規模・適正配置計画」を策定している。計画は、令和4年度から令和13年度の10年間である。
- (2) 令和5年3月に静修小学校が閉校し、4月に日高小学校へ統合している。
- (3) 令和5年3月に高橋小学校が閉校し、4月に合橋小学校へ統合している。
- (4) 令和3年2月、増加する保育ニーズと少子化の進行に伴い生じる「待機児童の発生」「保育士等の不足」「適正規模の子ども集団を確保できない就学前施設(幼稚園・保育所・認定こども園)の増加」といった課題を総合的に解決するため、今後の目指すべき基本方向や、実現するための具体的な方策(就学前施設・放課後児童クラブの施設整備の方向性など)を示すものとして、「豊岡市における幼児教育・保育及び放課後児童のあり方計画」を策定している。計画は、令和3年度から令和12年度の10年間である。
- (5) 令和5年3月に豊岡めぐみ幼稚園と豊岡ひかり幼稚園が閉園・統合し、4月に豊岡幼稚園が開園している。
- (6) 令和5年3月に田鶴野幼稚園が閉園し、4月から田鶴野小学校区の1号認定(教育標準時間認定)4・5歳児はチャイルドハウスこども園(私立)又はおもしろたのしみえこども園(私立)に優先的に入園できるよう該当園に要請している。
- (7) 令和5年3月に新田幼稚園・中筋幼稚園・神美幼稚園が閉園・統合し、4月にアートチャイルドケア豊岡こうのとり認定こども園(私立)に移行している。

第7 監査の総括及び所見

内部統制の有効性及び妥当性並びに合理性の観点から、要望事項等については、以下のとおりである。

<共通事項>

幼稚園及び小学校の共通の要望事項等については次のとおりである。

〔指導事項〕

- (1) 例月現金出納検査の結果において通知している支払遅延等、不適正な会計事務執行により市民に不利益を与える事態を招くことのないよう、職員の意識改革を図るとともに、組織内の相互牽制機能を発揮し、組織の機能充実・強化により適正な事務の執行に努められたい。また、不十分な引継ぎにより事務が停滞することのないように事務引継ぎを確実に行われたい。

〔要望事項〕

- (1) すべての学校園に「防犯マニュアル」などが整備されていた。引き続き、警察署と連携し、不審者対応訓練、さすまた訓練などの訓練を実施し、安全管理に努めていただきたい。
ボタンを押すと兵庫県警につながる「県警ホットライン」を使用した訓練等の実施については、一部の学校園で長期間実施されていなかったため、万が一に備え、教育委員会と連絡調整を行い、年1回程度、計画的に実施していただきたい。
また、夜間の校舎・園舎管理に係る警備システムについても、契約業者と連携し、定期的に作動テストを実施していただきたい。
- (2) 修繕料の執行については、効果的・効率的で緊急時にも対応できるような仕組みの中で行われており、学校園と教育委員会双方の事務の省力化につながっている。
園児・児童の安全を最優先に、必要箇所の危険度等を考慮して修繕するなど、引き続き適切な施設管理を行うよう要望する。
- (3) 全ての学校園で地域とふれあう行事が活発に行われており、このことが園児、児童のふるさとを愛する心を育て、地域の防犯意識の向上にもつながる。引き続き、地域との連携を深める活動を推し進められたい。

<幼稚園>

幼稚園における要望事項等については、次のとおりである。

〔指導事項〕

- (1) 一部の幼稚園で郵券受払簿の残数の誤記載があった。「豊岡市物品取扱規則」では、物品出納員は、物品の取得又は処分等異動の都度物品出納簿に記載し、整理しなければならないと規定されている。また、「公金（現金）管理マニュアル」では、各課等で保管する郵券等について、現金と同様に厳正に管理することとされている。使用状況を明らかにし、適正な管理に努められたい。

<小学校>

小学校における要望事項等については、次のとおりである。

〔要望事項〕

- (1) 小学校でいじめが認知されているが、いずれの案件も小学校と教育委員会が連携し、解決に

向けて早期の対応が行われている。引き続き、「豊岡市いじめ防止基本方針」に基づき、いじめや問題行動の未然防止、早期発見、早期対応に努められたい。

- (2) 学校給食徴収金について、滞納が発生している小学校があった。適切に督促及び催告を行っており、翌年度まで残ることはない聞き取りを行ったが、引き続き、「豊岡市債権に関する条例」及び「豊岡市債権管理マニュアル」に基づき、台帳整理、交渉経過等の記録など、適切な債権管理を行っていただきたい。

【注意事項】

- (1) 一部の小学校で処分済の備品が備品台帳から抹消できていない案件が見受けられた。定期的に備品台帳と現物の照合作業を行い、適正な備品管理に努められたい。